



上鷺宮

「自然といのちを守る学校」

<http://nk-kamisagi-e.a.la9.jp/>

No.438

平成29年度
学校だより 3月号

中野区立上鷺宮小学校

校長 堀 聡明

Tel 3926-6381

ご理解ご支援に感謝申し上げます

校長 堀 聡明

よく晴れた朝は、本校の屋上から雪化粧の富士山がきれいに見えます。かみさぎ山では若い草が空に向かって伸びようとしています。何気ない草ですが、本当に美しく見ることができ、本校の子どもたちを励ましてくれているようです。

早いもので、今年度も残すところ1か月、17日余りとなりました。子どもたちは今、最後のまとめを頑張っています。学校としてもここで、この一年の締めを進めつつ、次年度の教育活動の充実にむけ、改善・修正を図っているところです。

本校では、一人ひとりのきめ細やかな学びの追究、特に社会科・生活科で「自分の社会とのつながり」を意識して指導してまいりました。誰もが「分かる」「できる」喜びがもてるよう、またその一方で教材の開発も進め、「考える楽しさ」を体得できるように、工夫を凝らしてきました。

こうした指導を進める中で子どもたちを見ていますと、学年に応じて自分から課題を解こうと意欲的に頑張ってきている子、また臆することなく人前で発表できるようになってきた子など、これまで学びに躊躇しがちだった子どもたちも生き生きと学びに加わり、自分の考えを出し、互いの学びを高めてきている様子が伺えます。その子なりの考えを受け止め、頑張ったことを見える形で評価し合い、互いを高めていく、そんな学びの積み重ねが子どもたちに「できた。」「わかった。」

という実感をもたせ、学びの意欲を引き起こさせているのだと感じさせられます。

孔子の教えに「憤ぜざれば啓せず、排せざれば発せず」という言葉があります。(なかなか知ることができずに苦しんでしなければわかるようにならない。言いたくて仕方がないというくらいでなければ教えの言葉を発しない) この教えからも、学びがしっかり定着していくには、学ぼうとする心の高まりが必要な事がわかります。子どもたちに無理やり教え込んでしまっても、また放っておいてしまっても学びはうまく育っていきません。教育の機能として大事にしたいのは、単に知識・技能の習得に終始するのではなく、学ぼうとする向上心をいかに高めていくかであり、その心の盛り上がりがないければ、なかなか学びが進まず、教え導くことは難しいと考え、さらに上鷺小は、挑戦していきます。

この1年間、保護者の皆様、地域の方々からの教育活動をご理解ご支援いただき、感謝申し上げます。次年度も、こうした孔子の教えを思いつつ、一人ひとりが意欲的に学べる指導、そして考える楽しさが味わえる授業づくりを積極的に進めます。それとともに、若い芽のようにいきいきと健やかに成長できるよう、より一層の創意・工夫を図りながら、その充実を図っていきたいと考えます。

3月の生活目標

1年間のまとめをしよう